

健康企業宣言
事業所訪問

人間ドック・脳ドック・ インフルエンザワクチンの自己負担額は、 会社負担で実質無料

(株) 三ツ矢



40歳以上の人間ドックの受診率100%を
目指し、自己負担額の補助

健康は、幸福にとって不可欠な要素です。心と身体の両面が整ってこそ健康であり、仕事に専念し、安心して生活できるのも健康であればこそ。社員の健康をサポートするのも会社の役目と考えているので、健康企業宣言「銀」の認証を受け、健康への施策に取り組んでいます。

主な施策は、人間ドック・脳ドック・婦人科検診の自己負担額の補助で、40歳以上なら実質無料で社員本人と被扶養配偶者が受けられるようになっています。

弊社では、例年春に巡回生活習慣病予防健診、秋に人間ドックを受ける、年2回の受診を推奨しています。人間ドックは25年前から受診勧奨していますが、なかなか受診率が伸びず3%くらいでした。受けない理由についてアンケートをとって見たところ、「費用」が29%と最大の阻害要因だったため、2019年度から会社独自に2万円補助することにして、健保組合負担と合わせれば日帰り人間ドックならほぼ自己負担なしで受診できるようにしました。これにより2019年度は30%と急増しました（2020年度はコロナ禍で受診抑制）。さらに2020年度からは脳ドックにも会社独自の1万5千円の補助をしています。今後も健診内容が充実している人間ドックの受診を勧めていくこととしています。

心の健康に対しては、ストレスチェックの実施、メンタルヘルスを専門とする産業医の増員、職場内での対話コミュニケーション、評価の公平化を進めています。また、ハラスメント相談窓口も設置しています。



社員の健康への会社からのサポートは、
予防策、機会の提供、そして治療費補助

めつき工場の職業病ともいえるのが、腰痛と熱中症です。腰痛対策として始業前にラジオ体操を放送し、熱中症対策として送風ファンによる空気の循環と塩飴の配付、冷却ベストの導入を行っています。

新型コロナのワクチン接種では、職域接種は大企業向けで、自治体の接種はいつになったら打てるのかという状況でしたので、弊社が加入している団体等を調べたところ中小企業家同友会でワクチン接種が受けられたので、社員だけでなく家族も受けられるように手配しました。本社のある五反田地区では8月末で社員の80%が2回接種完了し、社員や家族から早く接種できて安心したと感謝されました。

また、重篤な病気が見つかり手術や入院するときには、会社が加入している任意保険から治療費の自己負担分を補助しています。健保組合からも傷病手当金が支給されますが、治療費が補助されれば、傷病手当金は生活費に充てられ、安心して治療に専念することができます。

本社：
東京都品川区西五反田3-8-1
従業員：296名



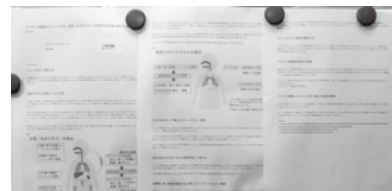
今後の課題は、実際に「使ってもらう」
こと。ゆくゆくは健康経営優良法人のチャ
レンジも

月に1回4工場の報告会があり、逐次健康管理の情報提供をしていますが、なかなか実際に各施策を「使ってもらう」ところまでいかないことが課題です。情報伝達を工夫して、施策をより使ってもらえるものにしていきたいです。

今後は、2023年度には全社の敷地内外を全面禁煙化し、月1回の運動特別休暇（有給）の導入も検討しています。こうした施策を実施していけば、ゆくゆくは健康経営優良法人もチャレンジできるのではないかと考えています。健康管理は社員や家族の幸福に寄与するものです。これからも社員と家族の健康を応援する施策を実行していきます。



▲草間社長（中央）と健康管理担当者



▲健康管理の情報は食堂の掲示板上にも掲示



冷却ベスト（冷却材を
ベストのポケットに
入れて体を冷やす）と
塩飴で熱中症対策▶

▲4工場の報告会でも
「健康への補助」と
して情報提供

項目	金額
人間ドック費用補助	20,000円
脳ドック費用補助	15,000円
インフルエンザワクチン	無料
冷却ベスト	無料
塩飴	無料

